

町政モニターアンケート  
報告書  
(H27. 11月実施)

平成27年度  
横瀬町

## 【調査の概要】

### 1. 調査の目的

町政モニターの皆さんのお意見を把握するとともに、町の事業や施策について、意見や考え方を聞き、よりよい諸施策の推進に向けた基礎資料とするため実施する。

### 2. 調査内容

(1) あなたと横瀬町について

### 3. 調査設計

(1) 調査対象 横瀬町町政モニター 15名

(2) 調査方法 メール送信・メール回答

(5) 調査期間 2015年(平成27年)11月16日～11月30日

### 4. 回収結果

調査対象	対象者数	有効回収数	有効回収率
町政モニター	15	15	100%

### 5. 集計結果の見方

(1) 小数点第2位を四捨五入し、構成比率(%)で小数点第1位までを表示します。そのため、合計が100%にならない場合があります。

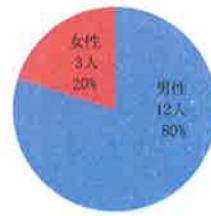
(2) 回答が択一または1つのみ選択の場合は「構成比」を、複数選択の場合は「回答比」を表示します。

(3) 自由記述部分は、ご本人の意を尊重し、文体・表現はそのままといたしました。

● 基本的な事柄についてうかがいます。

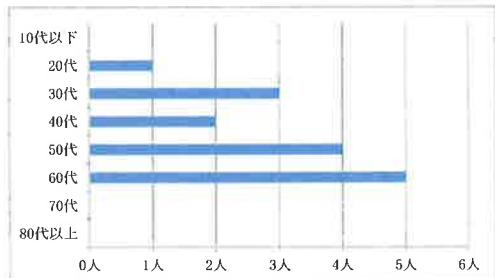
問1. 性別をお聞かせください。

男性	80.0%	12人
女性	20.0%	3人



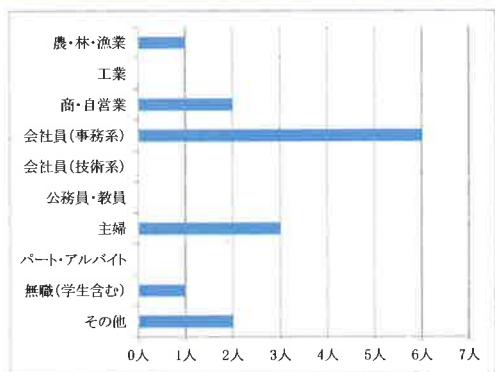
問2. 年齢はおいくつですか。

10代以下	0.0%	0人
20代	6.7%	1人
30代	20.0%	3人
40代	13.3%	2人
50代	26.7%	4人
60代	33.3%	5人
70代	0.0%	0人
80代以上	0.0%	0人



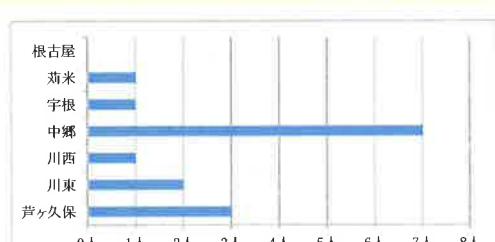
問3. ご職業についてお聞かせください。

農・林・漁業	6.7%	1人
工業	0.0%	0人
商・自営業	13.3%	2人
会社員(事務系)	40.0%	6人
会社員(技術系)	0.0%	0人
公務員・教員	0.0%	0人
主婦	20.0%	3人
パート・アルバイト	0.0%	0人
無職(学生含む)	6.7%	1人
その他	13.3%	2人



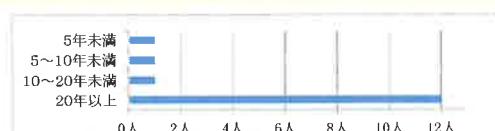
問4. お住まいはどちらの地区ですか。

根古屋	0.0%	0人
茹米	6.7%	1人
宇根	6.7%	1人
中郷	46.7%	7人
川西	6.7%	1人
川東	13.3%	2人
芦ヶ久保	20.0%	3人



問5. 居住年数についてお聞かせください。

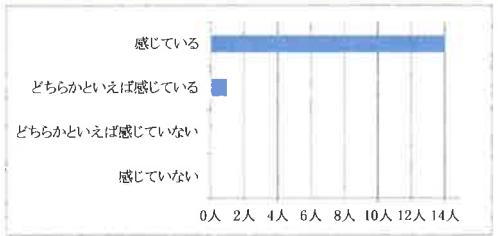
5年未満	6.7%	1人
5~10年未満	6.7%	1人
10~20年未満	6.7%	1人
20年以上	80.0%	12人



●あなたと横瀬町についてうかがいます。

問6. あなたは、横瀬町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

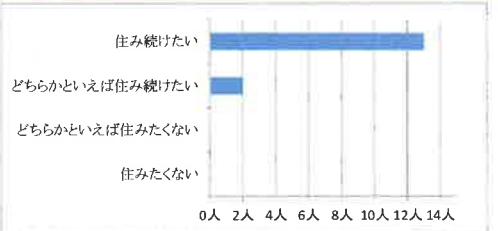
感じている	93.3%	14人
どちらかといえば感じている	6.7%	1人
どちらかといえば感じていない	0.0%	0人
感じていない	0.0%	0人



○横瀬町に「自分のまち」として愛着を「感じている」と回答された方が全体の9割をしめています。

問7. あなたは、今後も横瀬町に住み続けたいと思いますか。

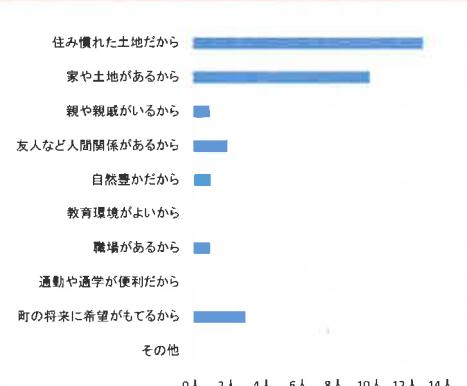
住み続けたい	86.7%	13人
どちらかといえば住み続けたい	13.3%	2人
どちらかといえば住みたくない	0.0%	0人
住みたくない	0.0%	0人



○今後も横瀬町に「住み続けたい」と回答された方が全体の8割をしめています。

問8. 問7で「住み続けたい」もしくは「どちらかといえば住み続けたい」と答えた方にお聞きします。住み続けたい理由は何ですか。  
(3つまで選択可)

住み慣れた土地だから	86.7%	13人
家や土地があるから	66.7%	10人
親や親戚がいるから	6.7%	1人
友人など人間関係があるから	13.3%	2人
自然豊かだから	6.7%	1人
教育環境がよいから	0.0%	0人
職場があるから	6.7%	1人
通勤や通学が便利だから	0.0%	0人
町の将来に希望がもてるから	20.0%	3人
その他	0.0%	0人

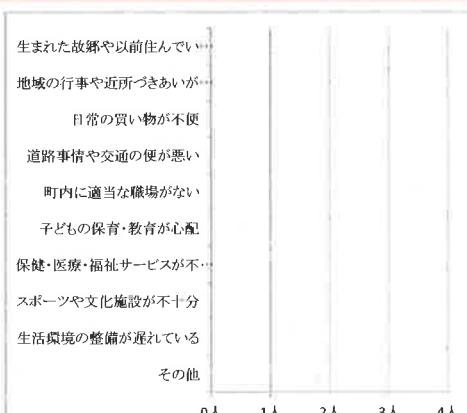


※問8で「住み続けたい」もしくは「どちらかといえば住み続けたい」と答えた方(15人)の回答比です。

○住み続けたい理由として、もっと多かったものは「住み慣れた土地だから」で、86.7%の方が回答しています。

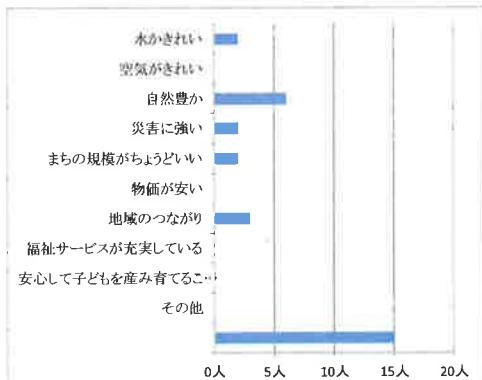
問9. 問7で「どちらかといえば住みたくない」もしくは「住みたくない」と答えた方にお聞きします。住みたくない理由は何ですか。(3つまで選択可)

生まれた故郷や以前住んでいた地に愛着がある	0.0%	0人
地域の行事や近所づきあいが面倒	0.0%	0人
日常の買い物が不便	0.0%	0人
道路事情や交通の便が悪い	0.0%	0人
町内に適当な職場がない	0.0%	0人
子どもの保育・教育が心配	0.0%	0人
保健・医療・福祉サービスが不十分	0.0%	0人
スポーツや文化施設が不十分	0.0%	0人
生活環境の整備が遅れている	0.0%	0人
その他	0.0%	0人



問10. 横瀬町に住んでいて特に「横瀬町のここがいい！」と感じるあなたの”横瀬自慢”を教えてください。

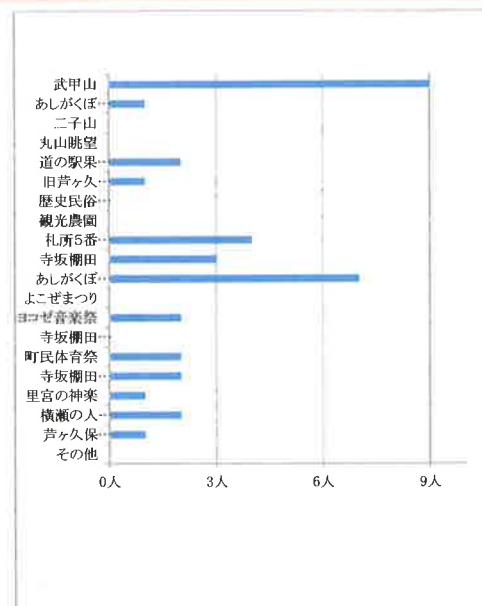
水かきれい	13.3%	2人
空気がきれい	0.0%	0人
自然豊か	40.0%	6人
災害に強い	13.3%	2人
まちの規模がちょうどいい	13.3%	2人
物価が安い	0.0%	0人
地域のつながり	20.0%	3人
福祉サービスが充実している	0.0%	0人
安心して子どもを産み育てることができる	0.0%	0人
その他	0.0%	0人



○”横瀬自慢”でもっと多かったものは「自然豊か」で、40%の方が回答しています。

問11. あなたが人に紹介したくなる、横瀬町の施設・場所・イベントはありますか。(3つまで選択可)

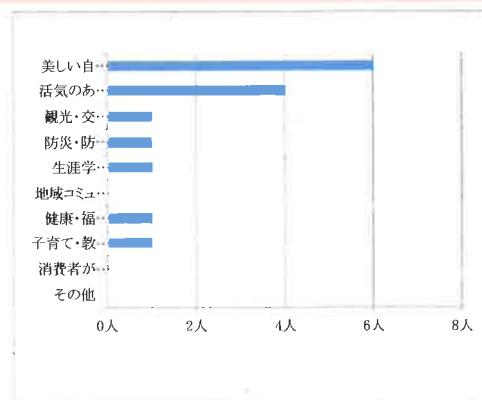
武甲山	60.0%	9人
あしがくぼ山の花道	6.7%	1人
二子山	0.0%	0人
丸山眺望	0.0%	0人
道の駅果樹公園あしがくぼ	13.3%	2人
旧芦ヶ久保小学校	6.7%	1人
歴史民俗資料館	0.0%	0人
観光農園	0.0%	0人
札所5番～10番	26.7%	4人
寺坂棚田	20.0%	3人
あしがくぼの氷柱	15.6%	7人
よこぜまつり	0.0%	0人
ヨコゼ音楽祭	13.3%	2人
町民体育祭	0.0%	0人
寺坂棚田彼岸花まつり	13.3%	2人
寺坂棚田ホタルかがり火まつり	13.3%	2人
里宮の神楽	6.7%	1人
横瀬の人形芝居	13.3%	2人
芦ヶ久保の獅子舞	6.7%	1人
その他	0.0%	0人



○人に紹介したくなる、横瀬町の施設・場所・イベントとして、もっと多かったものは、「武甲山」で、60.0%の方が回答しています。

問12. あなたは、今後のまちづくりにおいて、横瀬町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。

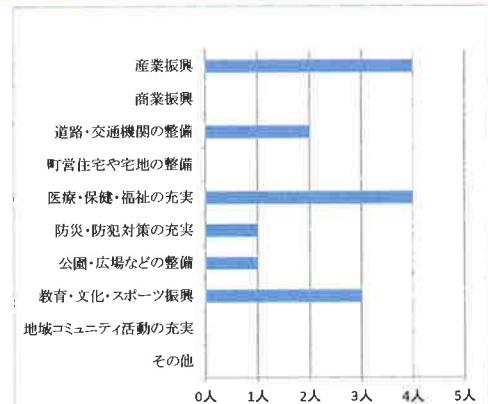
美しい自然と景観のまち	40.0%	6人
活気のある産業のまち	26.7%	4人
観光・交流のまち	6.7%	1人
防災・防犯のまち	6.7%	1人
生涯学習・文化・スポーツのまち	6.7%	1人
地域コミュニティのまち	0.0%	0人
健康・福祉のまち	6.7%	1人
子育て・教育のまち	6.7%	1人
消費者が満足する商業のまち	0.0%	0人
その他	0.0%	0人



○今後のまちづくりにおいて、もっと多かったものは「美しい自然と景観のまち」で、40.0%の方が回答しています。

問13. あなたは横瀬町の取り組みの中で、今後、特にどの分野に力をそそぐべきと考えますか。

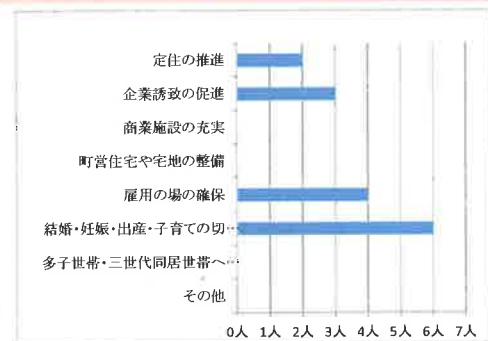
産業振興	26.7%	4人
商業振興	0.0%	0人
道路・交通機関の整備	13.3%	2人
町営住宅や宅地の整備	0.0%	0人
医療・保健・福祉の充実	26.7%	4人
防災・防犯対策の充実	6.7%	1人
公園・広場などの整備	6.7%	1人
教育・文化・スポーツの振興	20.0%	3人
地域コミュニティ活動の充実	0.0%	0人
その他	0.0%	0人



○横瀬町の取り組みの中で、今後、特にどの分野に力をそそぐべきとして、「産業振興」「医療・保健・福祉の充実」が最も高く26.7%、次いで「教育・文化・スポーツの振興」20.0%となっています。

問14. 人口減少が全国的な問題となっており、横瀬町の人口も年々減少しています。人口減少対策として、どのようなことが重要と考えますか。

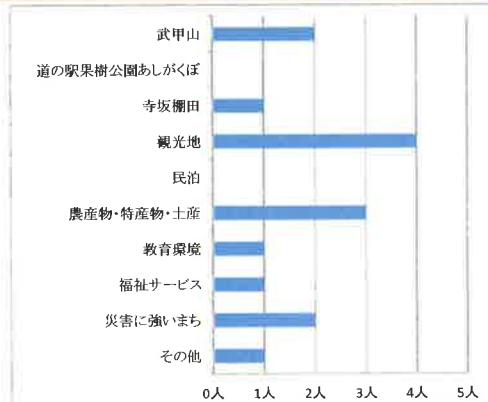
定住の推進	13.3%	2人
企業誘致の促進	20.0%	3人
商業施設の充実	0.0%	0人
町営住宅や宅地の整備	0.0%	0人
雇用の場の確保	26.7%	4人
結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	40.0%	6人
多子世帯・三世代同居世帯への支援	0.0%	0人
その他	0.0%	0人



○人口減少対策として、もっとも多かったものは「結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」で、40%の方が回答しています。

問15. あなたは、横瀬町の認知度とイメージを向上するためには、今後どのような内容をPRすれば良いと思いますか。

武甲山	13.3%	2人
道の駅果樹公園あしがくぼ	0.0%	0人
寺坂棚田	6.7%	1人
観光地	26.7%	4人
民泊	0.0%	0人
農産物・特産物・土産	20.0%	3人
教育環境	6.7%	1人
福祉サービス	6.7%	1人
災害に強いまち	13.3%	2人
その他	6.7%	1人



○横瀬町の認知度とイメージの向上として、もっとも多かったものは「観光地」で26.7%、次いで「農産物・特産物・土産」20.0%となっています。

問16. 横瀬町が今まで以上に「住んでみたい・まち訪れたいまち」となるためのご意見・アドバイス等ありましたら、ご自由にお書きください。

・駅を中心としたコンパクトシティ(住宅地の開発)

・素朴な田舎生活を感じることのできる町。横瀬町でしかできない地形・気候を生かしたイベントの開催

・高齢化を避けては通れない事実ですので横瀬町の高齢者が生き生き暮らせる町、横瀬の山に囲まれているこの自然と共有できる町、建てない、壊さない、そのままを活かしたロハスな環境を。  
あとは、武甲山の活用しかない！

・近頃、テレビ等でよく秩父市をPRした番組が多くなりました。宣伝効果は大と考えます。是非、棚田、道の駅、氷柱、札所等報道してみては如何でしょうか。

・武甲山は横瀬町のシンボルと言いますが、世界に誇れる「自然遺産」です。もっともっと、「武甲山」を前面にだした取り組みを積極的に進めていってほしい。

・子育て世代からすると、平日ウォーターパークや農村公園へ行つても遊んでいる親子はほとんどと言っていいほどみえません。公園をもっと充実していただけないと、他の地域に住んでいても、行ってみよう！ということになるのでは…と思います。  
実際、みーな公園(皆野)は、子どもが気に入っていてよく行きます。